

(刊 夕)

常磐新報

常磐論談

此の經濟界を 何と視る

資本家が失脚する
事業家も滅亡する
無産者も失職する

視まい聞かまい語るまいの
三派——〇〇の如く現在の
經濟界は資本家も事業家も
労働者も等しく悲觀の頂點
にある——、政治は學問で
はない、實生活であるとは
好く政治家の口にする處だ
然るに現内閣は理想學說に
トラはれ我々國民の生活に
反省して呉れぬ、一年とか
二年とかなれば一般も國家
の爲めと思へば辛抱もする
が、既に不況の聲を聴てよ
り否、體驗してより七八年
昨今は益々深刻に失業者は
全國に何百万人、働かんと
して職なく喰はんとして食
なき現狀である、——
政治は國の政事を取り國民
の安泰を計るが根本でなく
てはならぬ然るに現内閣は
學理にとらわれ國民が死
するも我関せずインの態度
である——、一歩譲て考て
見ても現政府の政策が可と
するも除々と一年で済む處

平警親會 創立總會

五月四日
平警會議室

天下御免

同日演でも四つ會は定員九
名に十五名の立候補がある
何となく興隆町の様でうら
やましい、
元氣でも元氣を出して小名
濱の意氣でも見せてや
たら、
氏は地方の名門に生れ幼に
して研究心に富み長じて益
頭腦明せき沈みだして、果
斷大事に臨んで誤らず、其
敏捷なる技術は氏を知る人
の驚嘆する處である氏は大
正十二年九月迄二年間本所

を二年とか三年とかに引延平警署管内在住の元警察
ばして國民思想の悪化しな官吏たりし人を網羅して親
い程度に政策の遂行を謀て
は如何だ、
とも地方公共及び秩序維持
は内亂も保しがたいと思ふ目的で生れた警親會の創立
何故かと云ふに——働くに總會は五月四日平警會議室
職なく喰ふにパンなく死に於て盛大に舉行する事に
するよりは——、人生死をなつた。
決した時は最も眞剣であり
最も力強いからである
現内閣諸公——反省せよ。

齒科醫鈴木正先生が齒科醫
術に優秀なる手ツンのあつ
た事は一般周知の事實なる
大東京の眞中にも相當人
氣のある事は、左の新聞記
事に於て明瞭である——
因に現醫院所在地は
杉並町高圓寺九二七
口腔外科
鈴木木齒科
鈴木正先生は高圓寺九二七
番地舊池下齒科醫院を繼承

毎日 日曜日 祭日 休刊
定価 一ヶ月 三圓六拾錢
指定 三ヶ月 九圓
半年 一七圓
一年 三二圓
廣告料 一文字 五錢
發行所 常磐新聞社
編輯 鈴木正先生
印刷 伊藤印刷所

友鈴木正先生より 手紙と共に左の 新聞惠送された

江名濱通信
去る五月一日日本縣土木課の
一行地方長官の謁見、縣
小名濱港に開港し忽ち認
められて縣代議員に擧げら
れ、爲す事三期其間イワ城
支部を創立し理事たり又内
務省土木事業共済會指定醫
として大いにコウ献す。
尙氏は通醫師後其資格を
所有し居れり、是を以つて
氏の材料とツク著深きを知
る特に治療及被ハ術に是に
居る。

磐城海岸軌道 人と喰ふ

八十老母を
五月二日午前十一時二十分
頃泉發小名濱へ進行中の軌
道機關車瀧尻地内を進行中
一老婆を引倒した、早速阿
部インへ負込み中村イ師
と共に百方手を盡したが遂
に頭部の重傷が致命傷とな
り、同日十二時死亡した。
軌道會社に其真相を聞く
に當日は雨天であり、其
れに自動車二台と機關車
と同時に客を乗せ出發
せし爲め瀧尻地内進行中
は自動車二台は稍々先に
進越し、被害者は一番先
の自動車にて瀧尻にて下
車しき道を踏切をくぐると
とき二番目の自動車と
き道車が併行の爲め老婆
が踏切らんとする時には
如何に停車に務めいも間

天氣豫報

今晩 北の風晴れ
明日 北東の風晴後薄曇
常地の氣壓七五九三三みり
昭和五年五月四日
小名濱測候所

◆良品れん賣に勝ル商譽なし
金物問屋
利洋銅鐵
釜屋商店
平町五丁目
電話九番 一三九番

内科
専門
川井内科診療所
電話七二二番

西村藥局
平町二丁目
藥品
附屬一式

小名濱町中町
村上淨代二商店
◆良品廉賣は村上のモットー……

平町
まるる本家具店

斜視眼

昭和會長

管原彌作君

昭和會長、町會議員、と近來大部男を上げた。

所謂得意時代か酒を煽つても氣嫌のよき。

失意と得意とに依つて人格的に相違を、きたす凡人の常が、

管原君——君も男だ、正々堂々と所信を披レキして

さ——。つまり氣嫌取りは能めて信念の本に選で見

給へ、此處に君の値償が分明するのだ、馬鹿であらう

が利口であらうが——。勢も筆者は其れを運める

野口竹次郎君

我々の先輩として筆者は常に君の行動を注視して居た

何故に、君を注視したか、其れは男としての、さりとつと

した男前の好い處を羨びたかつたのだ

野口君——君は青年時よりを遊オクした時に、他と比較して自分はヨリ好く世の中を泳いだと自覚するであらう

野口君——老後のオモ出に大小名濱の初期に當て、何か一つ氣抜の仕事をして世間のくよくする野郎共の度膽を抜いてやつたら

それ位な考案はあるだらう

野口君——

野口君——

善にせよ、惡にせよ、大限は八十で總理大臣をやつて相變らずけい時分よりの大布呂敷を擡げて居たぞの口君に其の元氣はなにか

家屋税調査委員選舉期迫ル

本縣に於る家屋調査委員選舉は來る五月十一日執行する、事になつた。

期日も切迫したる小名濱は昭和會にては既に候補者の頭觸も大體決定したる如く九名委員の處内三名を昭和會にて人員物色中の處園井忠太氏、馬上政二氏、小野豊重氏等に決定したらしく近く事務所を設け運動に着手すると、

反面公友會は残り六名丈にて満足するや否や、其消息の仄聞する處に依れば公友會も閣々裡に準備中で、九名委員の候補者を押樹て一奇呵成に當選を策しつゝありとか——選舉は策だ其處に面白い興味も持てる。

社告

一、印刷見習工至急募集ス

年齢十五歳ヨリ十七歳迄

本人來談アル

常務新聞社

祝改題日刊

小名濱町 丹計之

同 高木安吉

平 井上貞次郎

好間村 小田炭坑 藤原鑛業所

福島市 佐藤澤

同 針本衛雄

同 河西八十治

中之作 園田善之助

川前村 山徳一

小名濱町 門馬忠吉

同 淨光院

同 野崎貞行

藤原 寒河江梅吉

同 蛭田辰藏

玉川村 永崎亮繁

平 加藤丈夫

山崎吉平

平 伏見彦衛

第二區 小學校長 協議會

第四區 小學校長會

江名町 平川醫院

五十嵐炭坑 不動澤鑛業所

磐城セメント株式會社 四つ倉 工業所

小名濱町築港 富塚梅吉

同 小山八十雄

同 齋藤勇之介

鹿島村 鈴木金藏

豊間村 遠藤仙右工門

江名町 平尾山三郎

川前村 兒玉萬平

藤原 小港徳治

同 三宅富助

同 平川隆吾

平 昭和タキシ

湯本町 片岡鎌三郎

平 松田卯治郎

泉村 猪カッ 健司

小名濱町 寶屋商店